

事業番号	13 01 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	水道事業（末端給水事業）	部局	企業局	課・室	水道事業課	

## 1 現状と課題

- ・人口減少等の影響で、10年後には年間給水量が約100万m<sup>3</sup>減少することが見込まれ、それに伴い給水収益が減少し、経営悪化の懸念がある。
- ・人材不足により人材確保・育成が困難になり、水道事業運営に関するノウハウが失われる恐れがある
- ・近年、全国各地で上下水道管の老朽化に起因する事故が多発していること、災害が頻発していること等から、生活インフラの安全性が大きな社会課題となる中、企業局でも施設・管路の老朽化が進みつつあり、老朽化対策・耐震化が欠かせない。
- ・上記に関しては企業局のみではなく、市町村も同様の課題に直面していることから、近隣市町村等と連携した広域的な検討・取組の実施が欠かせない。

## 2 事業目的

水道事業のミッションである、生活に最も身近なライフラインである水道水の安定供給を確保するため、以下の取組が必要

- ・施設・管路の更新によって、施設・管路の老朽化対策・耐震化を実施
- ・持続可能な経営基盤の構築に向け、関係団体等と連携した広域化に向けた検討・協議や技術支援・人材育成を実施
- ・財政基盤の強化や安定的な経営の観点から、収益基盤の強化の検討を実施

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①管路・施設の老朽化対策・耐震化・リスクマネジメント

- ・管路、施設の老朽化対策、耐震化の推進



### ②関係機関と連携した技術支援や人材育成

- ・簡易研修設備を市町村職員の研修会場等に活用
- ・公益財団法人 長野県下水道公社と共同で実務研修会を開催

### ③広域化・広域連携の検討

- ・上田長野地域について、広域連携の協議・検討

### ④適正な料金水準等の検討

- ・持続可能で安定した水道供給のため、適正な料金水準等の検討

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし -: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		見込	推移			
①-1	有収率	%	84.5	84.2	→	84.2	→	84.2	/	/	管路・施設の老朽化対策のため、「長野県公営企業経営戦略2026」（令和8年3月策定予定）において設定したR17年度目標値84.9%の達成に向けて、R8年度の事業進捗予定に合わせた目標値とする。
①-2	塩化ビニル管の解消率	%	35.3	53.2	↗	65.4	↗	70.1	/	/	管路・施設の老朽化対策のため、「長野県公営企業経営戦略2026」（令和8年3月策定予定）において設定したR17年度目標値100%の達成に向けて、R8年度の事業進捗予定に合わせた目標値とする。
①-3	基幹管路の耐震管率	%	42.5	43.4	↗	43.4	→	43.7	/	/	管路の耐震化推進のため、「長野県公営企業経営戦略2026」（令和8年3月策定予定）において設定したR17年度目標値49.9%の達成に向けて、R8年度の事業進捗予定に合わせた目標値とする。

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値		
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	水道の広域連携を実施する圏域数	圏域	2022(R4)	0	2023(R5)	0	2024(R6)	0	2027(R9)	9

6 事業コスト

(単位：千円、人)

事業番号	13 01 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	水道事業（末端給水事業）	部局	企業局	課・室	水道事業課	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	水道事業（末端給水事業）	7,795,315 千円	7,980,055 千円	予算案 8,417,895 要求 8,417,895 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	管路・施設の老朽化対策・地震対策	直接 委託	安心・安全な水道水を安定的に届けるため、管路・施設の老朽化対策、耐震化を推進 塩化ビニル管布設替 L(延長) = 2.0km	
2	関係機関と連携した技術支援や人材育成	直接 委託	関係機関と連携等し、水道事業者の技術力向上を支援 実務研修会 10回	
3	広域化・広域連携の検討	直接 委託	持続可能な経営基盤の構築に向け、関係団体等と広域化に向けた検討・協議を行う 上田長野地域水道事業広域化協議会 4回	